



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda179 号

NP0 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2017 年 7 月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
年 6 月	18 日 日曜地学ハイキング 30 日 四小 5 年観察会	1 7 日 定期保全 27 日 竹切り出し	14 日 (水) 大坂保全	
7 月	23 日 (日) コープみらい 24 日 (月) 和光湧き水教室	3 日 (月) 竹切出し 15 日 (土) 定期保全	19 日 (水) 大坂保全	8 月 18 日 ボランティア体験

1. 自然環境マップ活用・ 日曜地学ハイキング

見どころ：①白子川の湧水と地形・地質，②湧水斜面林と保全，③湧き水の会の活動（森づくりなど）
内 容：駅…特別緑地保全地区の湧き水を巡り…白子コミセンでレクチャー（守る活動の紹介・昼食）…大坂ふれあいの森…和光樹林公園ーバスー和光市駅 距離は 5 km 程度

* 「和光市自然環境マップ」全員に配布し活用しました。

和光市自然環境マップ完成後の活用事業第 2 弾、地学団体研究会埼玉支部と当会との共催で『和光の湧き水を楽しみ守るハイキング』を実施しました。武蔵野台地の末端部には、特徴的な湧水が点在しています。特に和光市には、白子川などにより台地が削られ、斜面下から湧水が見られます。代表的な白子地域は、水の豊かな川越街道の白子宿として栄えたところです。今回の地ハイは、当会との共催で、2015 年 12 月に指定された「白子宿特別緑地保全地区」を巡り、湧水路保全について考える企画です。古の川越街道宿場を辿り、理化学研究所の新しく命名された「ニホニウム通り」を歩き、和光樹林公園での森づくりの活動も紹介する一日コースです。予報では曇りのち雨、暑すぎずまずまずの天候に恵まれて、成増駅には総勢 45 名もの参加者が集まりました。林立するマンション、商店街を抜け、新田坂を下り白子川を渡る白子橋で、湧水の流入を見学、急坂道の滝坂を登り途中にある「小島家湧水」で一息。台地上部から、急坂を今度は階段で下り熊野神社境内に到着。道路を挟んだ向かい側の今日の目的地「白子宿特別緑地保全地区・富沢湧水」を案内しました。武蔵野台地末端部の特徴的な湧水の仕組みが実際に分かる地層の見学、石垣で作った湧水路の形態を見学、湧水利用の仕組みが残っている所や昭和初期の“湧き水組合手帳”などを披露しました。

11 時過ぎ～白子コミセンで「和光の湧水保全と湧き水の会の活動」について高橋勝緒さんの講義、「和光市自然環境調査および海外での活動」について末永和幸さんの講義があり、和光の湧水関連についての理解が得られました。海外の恵まれない水事情の話は印象的でした。昼食後、歴史の残る熊野神社に関する資料を参考に、現在の神社の様子とかつての面影を比べ、文化 11 年に完成し今に残る貴重な鳥居を通り、大坂ふれあいの森へ。

大坂ふれあいの森では、関東ローム層の TP 層を見学し、参加した学生さんたちがサンプル採集を行い、当会で行っている急斜面保護への影響が気かりでした。森の奥にあるれき層も案内しました。

川越街道をさらに進み「馬頭観音」では、古くから「馬医」として街道沿いで活躍した歴史をしのびました。その先は、まったく新しく命名された「ニホニウム通り」に向かい、理化学研究所の広い敷地を見ながら和光の新しい見どころを辿り、「和光樹林公園」へ。

樹林公園では、森探検の看板前で、どんぐりの森づくり、松の幼樹林、ヒロハアmana保護について紹介し、最も奥にあるどんぐりの森に案内しました。枯れ木の伐採が進む公園は、高い樹木がわずかしかなかった風景を見、どんぐりの豊かな緑に包まれた森に入りました。当会の活動、森づくりや湧水緑地保全を実際に見学し、緑を残していく活動の理解につながりました。今回のコースは、会の全体の活動を紹介することが出来、有意義な一日でした。地ハイの参加者は、地図を活用し辿り、流石に 500 回を超す地ハイを体感できました。



成増駅集合 コースガイド



新田坂の石造群



白子川にかかる白子橋



熊野神社への急な階段を下る



白子宿特別緑地保全地区・「富澤湧水」で台地末端部の湧水見学



湧水を利用した石垣湧水道を見学



白子コミセンで湧き水について講義。高橋勝緒氏、末永和幸氏



大坂ふれあいの森急斜面の地質



旅人の行き交った川越街道の馬頭観音



新しく命名されたニホニウム通り



樹林公園・どんぐりから育った
どんぐりの森の見学。枯れ木対
策中の公園で豊かな緑の森。
全員集合・和光・緑と湧き水の
会と地学団体研究会埼玉支部
の共催で行った楽しい地ハイ
でした。

